

公益財団法人 檜の芽会 御中

令和 6 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】	① 作成日	令和 7 年 5 月 30 日	
② 法人・団体名	ユッカの会		
③ 団体所在地 (都道府県・市町村名まで)	〒247-0002 横浜市栄区小山台 2-37-4		
④ 責任者氏名	中和子	(役職名等)	代表
⑤ 担当者氏名	水本みゆき	(役職名等)	副代表

【奨学活動の概要】

⑥ 助成交付決定番号	R06-034	⑦ 助成金額	32 万円	⑧ 申請カテゴリー	B
⑨ 奨学活動名	外国につながる子ども・保護者への学習支援、および進路生活等相談対応事業				
⑩ 主な実施場所名・ 及びその住所	かながわ県民センター（横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2） 男女共同参画センター横浜（横浜市戸塚区上倉田町 435-1） あーすぷらざ（横浜市栄区小菅ヶ谷 1-2-1） とつか区民活動センター（横浜市戸塚区川上町 91-1 モレラ東戸塚 3 階）				

⑪ 活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

期間を通して、週 1 回 2 時間程度の 1 対 1 の個別学習支援を実施（⑩の 4 か所及びオンライン）。学習の中でボランティアが学習・進学・生活上の相談に随時対応、必要に応じて運営委員が担当ボランティアをサポートした。週末勉強会・集中学習教室を計 17 回実施、学習者のべ 356 名、ボランティアのべ 270 名、ボランティア希望者 20 名が参加、日本語学習、教科学習などそれぞれのニーズに合わせた学習をした。1 月 11 日に実施した高校入試面接練習には 8 名が参加、受け答えや立ち振る舞いを一つ一つ確認した。毎週水曜日のひろば（夕食提供を伴う学習支援・居場所活動）を 34 回実施。のべ参加者は学習者 316 名（子ども 221、大人 95）、ボランティア 304 名、その他 59 名（学校関係者・福祉関係者・地域住民等）。週末勉強会やひろばでは、教育相談窓口と連携し、高校入試に向けての志願手続き、書類記入などのサポートも実施。2024 年度の高校受検結果は、公立高校進学 16 名、私立高校進学 4 名、進学準備 1 名となった。

⑫ 奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3 - 2 等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A : 人)	平均時間 (B : 時間)	活動量 (A x B)	備考・補足・計算根拠等
中学生等	562	2	1,124	
高校生等				
大学生等	95	2	190	成人の学習者数を記載
学習支援員等	575	2	1,150	
その他	59	2	118	地域の支援者、学習者の家族など
合計			2,582	

⑬ その他の定量的な数値（任意）

2024 年 12 月現在の登録ボランティア数：240 名、登録学習者数：333 名（成人 202 名、子ども 131 名）

令和6年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：

外国につながる子ども・保護者への学習支援、および進路生活等相談対応事業

法人・団体名：ユッカの会

作成者 氏名：水本みゆき

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

外国につながる生徒への学習支援、保護者・生徒への情報提供・相談対応等を通じて、高校進学・就労など進路実現をサポートすることを目的に、①週1回2時間程度の1対1の個別学習支援②週末勉強会・集中学習教室③ひろば（夕食提供を伴う学習支援・居場所活動）④高校入試面接練習を実施した。学習の中でボランティアが学習・進学・生活上の相談に随時対応、必要に応じて運営委員が担当ボランティアをサポートした。

2. 実施した奨学活動の詳細

①1対1での個別学習支援（横浜市内の公共スペース4か所にて。週1回2時間程度）

2024年12月現在のボランティア数：240名、学習者数：333名（成人202名、子ども131名）

学習者・ボランティアは、ホームページ・チラシ等を見ての問い合わせの他、横浜市国際交流協会、かながわ国際交流財団、横浜市内の各国際交流ラウンジ、あーすぷらざ外国人教育相談、とつか区民活動センター等相談窓口経由での受け入れ、学校からの問い合わせによる受け入れもあった。

オンラインで学習を担当しているボランティアからの提案を受け、オンライン学習に関する情報交換会を実施した（2025年2月10日。Zoom利用。参加者11名）。学習者のモチベーションを保つにはどうしたらよいか、オンラインで利用できる教材などについて話し合うことができた。

②週末勉強会・集中教室（かながわ県民センターにて、計17回実施）

のべ参加者：学習者356名（対面341名・オンライン15名）、ボランティア270名（対面251名、オンライン19名）、ボランティア希望者20名。

週末勉強会では、1対1の学習のマッチングを待っている学習者や新規に申込のあった学習者を中心に、当日参加可能なボランティアと1対1またはグループで学習する。学習のほか工作やゲームをする時間も設け、同国の仲間と会い、母語で話すことができる居場所としての役割も果たしている。終了後は、おてらおやつクラブや栄区社会福祉協議会から寄付いただいたお菓子等を配布した。

学習終了後にボランティアの振り返りを実施し、学習者の様子の共有、疑問や課題の聞き取り、情報交換などを行った。

2024年度は、新規に学習を希望する子どもがとて多く、地域のボランティア団体の中には受け入れを中止したところもあった。当会でもなかなか1対1のマッチングは進まず、週末勉強会が貴重な学習の機会となっている子どもも多い。



③ひろば：夕食提供を伴う学習支援・居場所活動

(あすぷらざにて、毎週水曜日 17:00~19:00 34回実施)

のべ参加者：学習者 316名 (子ども 221名、大人 95名)、ボランティア 304名、その他 59名 (保護者、学校関係者・福祉関係者・地域住民等)

学習者や保護者、ボランティアだけでなく、地域の一人暮らしの高齢者や子育て中の親子が参加したり、学校教員やスクールソーシャルワーカー、地域の福祉担当者が参加者の様子を見に来たり、さまざまな背景を持つ方たちがともに過ごす場となっている。学習をしたり、おしゃべりをしたり、ゲームをしたりし、その後手作りの夕食をいっしょに食べる。自分の食器は自分で片づけるよう声かけをしている。年 4 回開催している誕生日会では手作りのケーキでお祝いし、七夕やクリスマス会など季節のイベントも実施、家族そろって参加する姿もあった。



④高校入試面接練習

(1月11日。かながわ県民センターにて。参加者 8名。面接官・スタッフ等 8名)

横浜市内で学習支援を実施している他のボランティア団体 (友ゆうスペース、多文化共生スポットワールドキッズ、地球っ子教室、もしかめ) にも参加の声かけを行い、地球っ子教室から 1 名の生徒が参加した。来日間もない生徒にとっては、日本語での受け答えはもちろん、面接の具体的なイメージを持つことも難しい。ノックの仕方、お辞儀の仕方など、入室から退室までの立ち振る舞いをボランティアが見本を見せたあと、それぞれが数回ずつ練習した。自信が無く、返答が聞き取れないほどだった生徒も、回を重ねるごとに大きな声ではっきりと答えられるようになった。



⑤教材の購入

学習希望者の増加に伴い、学習で使用する日本語教材が不足していた。助成金を得て使用頻度の高い教材を購入することができた。



3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

●週末勉強会・集中教室について

横浜市内には多くのボランティア教室 (日本語教室、学習支援教室) があるが、学習希望者が多く受け入れを停止している教室もある。また、日本語指導が必要な児童生徒の増加に伴い、まだ日本語力が十分でなくても、学校での支援対象から外れてしまう場合があり、学校の先生から地域での継続支援を求める問い合わせもある。当会で実施してきた 1 対 1 での決まったペアでの学習支援は、学習の継続性やボランティア・学習者双方のモチベーション・信頼関係の維持に効果的だが、学習希望者の増加に対応しきれず、月 2 回程度の週末勉強会を開催することで、学習や相談の機会を確保している。登録ボランティア数が多いため、都合のつくボランティアが参加する形で勉強会を実施することができている。一方で、毎回違う学習者をその場で担当しなければならないため、ボランティアの負担が大きく効果的な学習が難しいとの声もあり、今後、実施方法や学習内容の共有など運営方法の検討が必要である。

●高校進学支援について

母国で中学校を卒業して、日本の公立高校進学を目指す学習者も多い。神奈川県には、そのような生徒を受け入れ、高校進学に向けたサポートを行うフリースクールが3か所あるが、2024年度は9月の時点ですべて定員に達し、受け入れを停止した。そのため、それ以降に来日した生徒は、地域のボランティア教室で学びながら高校進学を目指すことになった。多くのボランティア教室は学習が週1回程度のため、複数のボランティア教室に通う生徒も多く、支援者間で学習内容や進学手続きの共有が難しい状況だった。今回、ユッカの会と神奈川区多文化共生ラウンジ学習支援教室「もしかめ」に通いながら高校進学を目指す生徒について、担当者がlineグループで情報共有を行い、あーすぷらざ外国人教育相談のサポートを受けて高校進学の支援を行うことができた。必要書類の準備やオンラインでの手続き、学校見学の日程調整、保護者との連絡などは相談窓口が担当、学習支援の他、書類の記入や学校・教育委員会への同行などをボランティアが行った。この生徒は残念ながら第1志望の全日制高校は不合格となり、定時制高校を再受検することになった。オンラインでの合否確認後、再受検の手続きは短期間で行わなければならない、ボランティア・運営委員・相談窓口が協力してサポートし、定時制高校への進学を果たした。今後もこのようなケースは増加することが予想される。相談窓口がハブ機能を果たすことでボランティア教室が相互に情報共有を行い協働で生徒を支援することは可能だと思うが、ボランティアの負担はかなり大きかった。フリースクールでの受け入れを増やす、公的な枠組みを作るなど、何らかの対策が必要だと感じた。

神奈川県の公立高校には、外国人特別枠（在県外国人等特別募集）が設置されている。2024年度は、2月に実施される共通選抜で、定員207名（全日制155名、定時制52名）のところ、全日制47名、定時制15名の不合格者が出た。不合格者は、3月に実施される公立高校の二次募集、定時制通信制高校の募集、私立高校への進学など次の進路選択、手続きが必要となる。

当会で学習している生徒も、2月の共通選抜で6名が不合格となった。そのうち2名は中学校に所属していない生徒だったため、週末勉強会やひろばを利用して、次の進路選択のための情報提供、書類記入などのサポートを行い、1名は外国人特別枠のある学校の二次募集に合格、1名は定時制高校に合格して進学した。中学校に所属している生徒でも、不合格後の進路については保護者が十分情報を得られていない場合もある。保護者からの問い合わせを受け、週末勉強会で保護者への情報提供、進路選択、書類記入のサポートを行った。相談を受けた2名のうち、1名は外国人特別枠のある学校の二次募集を受検し合格、もう1名はフリースクールで1年学び直し来年度高校進学を目指すことになった。普段の学習の中で保護者との連絡が取れていたことが今回の相談につながったと考えられる。保護者の日本語力が十分でないことに加え、日本と母国の高校進学の制度の違いなどもあり、外国につながる生徒・保護者にとって、高校進学はかなり高いハードルであると感じた。

●高校卒業後の進路支援について

外国につながる生徒の中には、就労に際して在留資格の変更が必要となる場合がある。例えば、在留資格「家族滞在」の生徒の場合、そのままでは就労することができないが、高校卒業後、内定を得れば、正社員として就労することが可能になる（在留資格を「定住者」または「特定活動（就労できる）」に変更）。当会で学習していた在留資格「家族滞在」生徒から、2025年3月の高校卒業後、就労を希望すると相談を受けた。在留資格の変更については、相談窓口を通じて弁護士・行政書士など専門家のアドバイスを受け、就労先への情報提供・書類記入の依頼、入管への在留資格変更手続きなどをサポートした。この生徒は、卒業と同時に「特定活動（就労できる）」への在留資格変更が認められ、4月からフルタイムで就労している。

【参考1】

2024年度7月~3月 週末勉強会等 参加者数

		対面			オンライン		備考
		学習者	ボランティア	ボランティア希望	学習者	ボランティア	
1	7月14日	24	14	1	1	1	
2	7月27日	18	11	1	0	0	夏の教室
3	7月28日	16	12	1	1	1	夏の教室
4	9月1日	4	3				台風のため中止（間違っ来てた学習者に対応）
5	9月15日	21	22	2	3	3	
6	10月6日	25	16	3	2	3	
7	10月13日	20	14	0	1	2	対面学習者のうち1名は会場でオンライン学習
8	11月10日	25	16	3	2	2	
9	11月24日	22	19	0	0	0	目白大外国語学部大学生9名参加
10	12月8日	17	18	0	1	1	
11	12月21日	28	16	1	1	1	冬の教室
12	12月22日	23	18	1	2	2	冬の教室
13	1月26日	23	14	2	0	1	
14	2月9日	14	17	2	0	1	
15	3月2日	21	11	2	0	0	
16	3月22日	18	16	1	0	0	春の教室
17	3月23日	22	14	0	1	1	春の教室
	合計	341	251	20	15	19	

【参考2】

2024年度7月~3月 ひろば 参加者数

	日時	参加者数	人数内訳				備考（地域：聴力障害の方、不登校の方などを含む）	イベント
			学：子ども	学：成人	ボランティア	その他		
1	7/3	7	2	1	3	1	地域1	七夕
2	7/10	16	5	3	6	2	地域1、保護者1	
3	7/17	16	7	2	5	2	地域1、保護者1	
4	7/24	20	4	5	8	3	地域3	
5	7/31	26	8	5	7	6	地域3、横浜市国際交流協会3	誕生日会
6	8/21	21	7	3	7	4	地域3、ウクライナ避難民1	
7	8/28	17	6	1	7	3	地域3	
8	9/4	14	4	1	7	2	地域2	
9	9/11	16	6	1	8	1	ボランティア希望者1	
10	9/18	26	9	4	9	4	ボランティア希望者1、元学習者と保護者・知人3	
11	9/25	22	5	5	11	1	ウクライナ避難民1	
12	10/2	21	7	5	9	0		
13	10/9	17	8	2	7	0		
14	10/16	25	11	1	13	0		
15	10/23	18	5	1	12	0		
16	10/30	24	6	5	11	2	他団体1、学習者家族1	誕生日会・ハロウィーン
17	11/6	20	6	3	10	1	地域1	
18	11/13	25	7	7	10	1	地域1	
19	11/20	15	3	2	8	2	地域2	
20	11/27	25	8	5	11	1	地域1	
21	12/4	25	5	6	11	3	地域1、SSW1、基幹相談センター職員1	
22	12/11	24	7	5	7	5	ボランティア希望中学生1、保護者1、地域3	
23	12/18	28	7	2	12	7	地域3、ウクライナ避難民1、学習者家族3	クリスマス
24	1/15	21	9	0	12	0		
25	1/22	18	7	1	10	0		
26	1/29	22	6	4	10	2	地域1、学習者家族1	誕生日会
27	2/5	21	8	1	10	2	SSW1、基幹相談センター職員1	
28	2/12	20	6	1	9	4	地域4（絵画展示のご家族）	
29	2/19	19	9	2	8	0		
30	2/26	18	7	3	8	0		
31	3/5	20	8	1	11	0		
32	3/12	16	5	1	10	0		
33	3/19	17	6	3	8	0		
34	3/26	19	7	3	9	0		
合計		679	221	95	304	59	7月~3月：34回実施（2024年度全48回実施）	